

SuperHファミリ用シミュレータデバッグご使用上のお願い

SuperHファミリ用シミュレータデバッグの使用上の注意事項を連絡します。

本製品はSuperH RISC engineファミリ用C/C++コンパイラパッケージに含まれています。

- 拡張機能付きSH-4A用シミュレータデバッグ使用時の注意事項

1. 該当製品

SuperHファミリ用シミュレータデバッグ V.9.08.00 ~ V.9.10.00

バージョンの確認方法：

- (1) 統合開発環境High-performance Embedded Workshopのメニュー「ツール」->「アドミニストレーション」を選択する。
- (2) 開いたツールアドミニストレーションダイアログボックスの「登録済コンポーネント」リストから、現在使用しているシミュレータデバッグを選択し、プロパティボタンをクリックする。
- (3) 表示されたプロパティのダイアログボックスの情報タブを選択すると、シミュレータデバッグのバージョンが表示されます。

2. 内容

当該製品に含まれる拡張機能付きSH-4A用シミュレータデバッグ (デバッグターゲット名: SH-4A(SH-X2) Simulator) は、デフォルト設定では URAM 領域にアクセスすることができません。

拡張機能付きSH-4Aは、プロセッサバージョンレジスタ (PVR) のVERビットの値がH'30以上になるSH-4Aです。

ただし、本シミュレータデバッグは、VERビットの値がH'40以上の製品はサポートしていません。

3. 回避策

URAMを搭載した拡張機能付きSH-4A製品の動作確認に拡張機能付きSH-4Aシミュレータデバッグを使用する場合は、内蔵メモリ制御レジスタ(RAMCR)のビット16を、メモリを操作するコマンド

またはメモリウィンドウで1に設定してください。

注意：RAMCRはリセット時にH'00000000に初期化されるため、設定はリセット後に実行してください。

RAMCRのアドレスはハードウェアマニュアルで確認ください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.